



# 水の誘惑

夏の暑さはわたしたちを水辺へと駆り立てます。海、川、谷川のせせらぎ……。夏は水が恋しくなる季節です。しかし、わたしたちが水と親しくなるほど、水難事故が多くなることも見逃がせません。事故の大半は6月～8月の間に集中しているのです。

水の犠牲者の4割近くは中学生以下の子供です。57年の6月から8月までに水死したり、行方不明になった子供(中学生以下)は401人。このうち、子供だけで事故に遭ったというのが7割(281人)、残りの3割(120人)は保護者が近くにいなから水の犠牲となっています。

子供の水難事故は思わぬとき思わぬ場所で起こります。子供だけで水泳や魚釣りに行かせないのはもちろん、一緒に海や川へ行ったときは、子供のことを心にしっかりとつなぎとめておきましょう。

**親竹は伏し枝垂れつつ若竹は**

**真直ぐに立ちて雨に打たるる**

牧 水



昭和58年 6月号 第382号

発行/東郷町役場・編集/企画財政課

# 変わりました! 参議院の選挙制度

参議院全国選出議員選挙に拘束名簿式比例代表制を導入することを骨子とする「公職選挙法の一部を改正する法律」が昭和五十七年八月一日衆議院本会議において可決成立し、去る八月二四日法律第八一号として公布、施行され、今回の参議院選挙から実施されます。これは、わが国、選挙制度史上、内容をよく理解して、大切な一票を投じましょう。

## 全国区 ↓ 比例代表選挙

政党に投票します。

〈名称も制度の内容も変わりました。〉

## 地方区 ↓ 選挙区選挙

個人に投票します。

〈名称は変わりましたが、制度の内容に変更はありません。〉

## 比例代表選挙(全国区)

比例代表選挙は  
政党に投票する選挙です。

①投票は政党名で、  
個人名を書くは無効です。

投票用紙には政党の名称、または略称を記入します。候補者個人名を記入すると無効となります。

②政党の選択は、  
候補者名簿や政策をよく見て。

立候補は政党(政治団体)が候補者名簿を提出して行います。個人による立候補は認められません。

候補者名簿に誰をどのような順位でのせるかは各政党が決定しますが、その決定は適正に行うことが求められています。

有権者は候補者名簿や各政党の政策をよくみて選ぶ政党を決めます。

③選挙運動は政党が、  
候補者個人ではできません。

選挙運動や選挙期間中の政治活動は、すべて政党が行います。

候補者個人による選挙運動はできません。

④当選者は、各政党の  
得票数に比例して決まります。

当選人数は、各政党の得票数に比例して配分されます。当選人は、各政党の候補者名簿に記入された順位により、上位から順に決まります。

## 選挙区選挙(地方区)

選挙区選挙の制度は、

これまでの地方区と

同じです。

●投票用紙には、  
候補者個人名を記入します。

棄権をしないで  
あなたの大切な一票を  
生かしましょう。  
東郷町選挙管理委員会

## 投票日は 6月26日です

六月二十六日は第十三回参議院議員通常選挙の投票日です。わたしたちの生活は国の政治とかわりなしにはあり得ません。その大事な国政を行なうために国会が組織されています。国会は衆議院と参議院の二院で構成される国権の最高の機関で、わたしたちの日々の生活にひびく政治の姿勢が決められる最も重要なところですよ。

私たちの一票が、日本の将来とわたしたちの幸福に大きくひびく重要な選挙ということになります。あなたの一票が、明日の日本を築くのです。棄権することなく投票し、政治に参加しましょう。

選挙権があっても  
選挙人名簿に未登録の  
人は投票できません。

入場券を  
お届けします。

転出先で不在者投票を  
する場合の注意

## 第13回 参議院議員通常選挙 —あなたも政治に参加しよう—

六月二十六日には、この二院のうち参議院宮崎県選出議員と比例代表選出議員の選挙が行なわれますが、その政党を選び出すわたし

この名簿に登録されると登録資格に異動がない限り永久に登録されています。

この名簿に登録されるのは、九月の「定時登録」と選挙が行なわれる時に登録する「選挙時登録」の制度がありますが、名簿に登録されるには「日本国民で年齢二十歳以上の人であって本町の住民基本台帳に記載されていること」が条件になります。

今回の選挙は、宮崎県選出議員と比例代表選出議員の選挙が同時に行なわれます。

投票当日に「やむを得ない公私の用事」や「旅行・病気・出産」などのため、どうしても不在になり投票所に行けない人のために、簡単な手続きで投票日の前に投票することが出来る「不在者投票制度」を活用しましょう。

# 正副議長を選任

## 常任委員会も構成がえ

五月六日、改選後はじめて開かれた町議会で正副議長の選任が行なわれ、投票の結果議長に原田昇、副議長に橋口昭夫議員がそれぞれ選任されました。

引き続き各常任委員会の構成がえがなされたあと、各委員会ごとに正副委員長を互選しました。

なお特別委員会の構成は従来の国営開拓パイロット事業促進特別委員会と広域行政調査特別委員会を総括して地域総合開発推進特別委員会と名称を改めました。

▼議長 原田 昇  
▼副議長 橋口 昭夫

▼総務常任委員会  
委員長 矢野日好、副委員長 山田年雄、委員 橋口昭夫、寺原国義、三浦文人、田代安夫。

▼文教厚生常任委員会  
委員長 黒田幸作、副委員長 成合亀行、委員 原田 昇、新名哲朗、佐藤輝夫、木村秋夫。

▼農林建設常任委員会  
委員長 黒木九一、副委員長 寺原寿夫、委員 矢野貞夫、田中守、佐藤真幸、稲田稀重。

### 《特別委員会》

▼企業誘致促進特別委員会  
委員長 矢野貞夫、副委員長 木村秋男、委員 原田 昇、矢野日好、佐藤輝夫、田代安夫、成合亀行、稲田稀重。

▼地域総合開発推進特別委員会  
委員長 新名哲朗、副委員長 佐藤真幸、委員 橋口昭夫、黒木九一、寺原国義、山田年雄、三浦文人、田中 守、黒田幸作、寺原寿夫。

◎議会議長 原田 昇

## 議会を代表して

### 東郷町議会議長 原田 昇

今や行政改革、財政再建という社会経済情勢の最もきびしい時期が到来しています。

しかし反面、年次的に国民の生活要求は、益々高度化、多様化している今日であり、均衡のとれた豊かで住みよい地域社会を建設することが要求されています。

私たち議会人は、今町民が何を考へ何を望んでいるか、認識を新たにし常に人との心のふれあいを大切に、創造力を活かして行政のパイプ役として、広く町民の意見を町政に反映させ、常

に行政のあり方を監視し、誠実に努力していきたくと決意しております。

また、議会運営につきましても、抑制均衡制を保ちながら基本的には不偏不党、公正無私の立場を堅持していく所存であり議員各位の協力を受けながら調和のとれた行政、円満にして活力ある議会活動を推進していきたいと思っております。

町民のみなさんには、今後共なお一層のご指導とご協力賜りますようお願い申し上げます。

期限は 6月30日

### 現況届

## 「児童手当」を引き続き受けるには

### 手続きが必要です

●それ以外の方… 最寄りの市区町村役場となっています。なお、手続きには①印鑑②年金手帳③手当が払い込まれる銀行や郵便局の通帳が必要です。



児童手当または児童手当の特例給付を受けている方は「現況届」を提出してください。期限は6月30日です。

現況届は、手当が受けられるかどうかを確認する大切な手続きです。これからも引き続いて児童手当や特例給付を受けようとする人は、現況届を提出してください。

この現況届を出しませんが、6月分からの手当が受けられなくなります。ご注意ください。

●官公庁や、国鉄など三公社にお勤めの方…勤務先

## 置県百年を記念して

宮崎県が明治十六年五月九日、鹿児島県より分離独立して百年を迎えました。県においては、この意義ある置県百年を記念して去る五月二十八日宮崎市において記念式典を挙行されましたが、この式典において本町から次の方々が表示の栄に浴されました。

▽表彰された方々

塩月 儀市氏(社会教育功労)

小野 弘氏(地方自治功労)

▽作文コンクール

最優秀賞 福瀬小学校六年 矢野 弘樹君

優良賞 坪谷小学校五年 (現在 東郷中一年)

### 那須 智行君 (現在 坪谷小六年)

※作文コンクール入選者 (現在、一学年進学しています)

福瀬小学校五年 矢野 普也君

坪谷小学校五年 岩下 マキ君

福瀬小学校六年 宮本 頼枝君

坪谷中学校一年 中武今日子君

本町も、この意義ある年を記念し、次の百年に向かって飛躍発展の年として町勢の伸張を図らなければなりません。

なお、最優秀に入選した、福瀬小学校、矢野弘樹君の作文を紹介いたします。

## 祖先の美風受けついで

### 福瀬小学校六年 矢野弘樹



「さゆりに男子出産」と母方の祖父の日記に青インクで書いてある。

「博に長男誕生」と父方の日記。やはり青インクだった。

多くの祖父二人は、二人とも、もう五十年以上も日記を付けている。そして、二人とも多くの生まれた昭和四十五年十一月二十五日

の日記に、多くの誕生のことを書いていた。

二人とも、一字一字でいねいにかい書で書いていた。この発見がきっかけとなり、祖父たちは多くの作文取材の相手になった。

ぼくは、去年の十一月下旬から二人の祖父に昔の話を聞いてもらった。まごのぼくがたずねることには、不思議なほどやさしく教えてくれるという言葉を母が言っていた。

父方の祖父と母方の祖父の話で

共通していることを衣食住に分類してみた。

宮崎県が生まれて二十年から二十五年ぐらいたって、二人とも生まれた。

昔は、ふるも男の人が先、洗たく物も男女別々にするし、物干しざおも別々だったそう。ぼくはこれ聞いて、祖母たちは、一家の大黒柱である祖父たちに敬意を表しているのだなと思った。社会科で習った、日本国憲法の基本的人権の尊重「男女の平等」と、このことは、少し意味が違うように感じた。ぼくは、祖父母の場合は祖母の祖父に対する尊敬をふくめたあたたかみを感じた。なぜなら、いまでも祖父母たちはとても仲がよかった。封建制度の名残があったにせよ、多くの祖父母の場合は、おたがいに助け合っていたとぼくは思いたい。

祖父は、はき物、着物、ご楽、遊びなど次々と話してくれた。

はき物は、いつもわらじであった。今は、スニーカーとか運動ぐつ、季節に合わせ色形とバラエティーに富んでいる。もちろん、昔は手づくりわらじ。おしゃれといえば、はなおの所に、布地のはしを使つたぐらいいのこと。着物はかすりで兄弟の上から下へとゆずり受けていた。兄弟の多いところの末っ子の着用するころは、穴があき、色あせ、つぎはぎだったそう。それでいて、末っ子は文句も言えなかつたし、当然のことと

思っていた。

「あのころは、兄弟みんな仲がよかったぞ。いちばん上の者は、弟たちをいつも子守りしたもんじやよ。」

となつかしそくに祖父は言った。食物といえは、みそ、しょう油などほとんどが自家製だ。そばかさなどごちそうだったとのこと。それだけに、お正月やお盆などに食べる物のおいしいことといったら今でも忘れられないとのことだった。

「住・ご楽」も各方面からたずねていった。祖父たちは、自分たちの幼いころをなつかしげに話してくれた。

父方の祖父は東郷町坪谷の生まれである。祖父の父、つまりぼくとつてひいじいちゃん、若山牧水とよく遊んだそう。ひいじいちゃんの家は、若山牧水の生家となりだった。祖父が、

「繁おじさん(牧水のこと)が何か短歌で入選してな。東京で表彰があったんじや。繁おじさんは、着物で東京に行くことになるが向こうの人が洋服とネクタイをつけてくるように言われてな、繁おじさんは洋服もネクタイも持つとらんもんじやから、わしの父ちゃんにたのんだが、わしの父ちゃんも洋服は、もつとらん。ただ、ネクタイだけはもつていたので、それだけ貸したんじや。」

祖父の話はいろいろと聞いていくと、若山牧水の事まで出てきて

だんだんおもしろくなってきた。母方の祖父はこの町の町長もしていたし、もう「牧水先生、牧水先生」である。ぼくも牧水の歌を百首くらいはよく知っているがこの祖父の牧水の歌に対する解釈が大変するどいことにはまいつてしまう。

ぼくは、二人の祖父の家を行ったり来たりしては昔のこと、そして現在のことをたずねた。どちらもこの東郷町をとても愛していることだった。この町の交通事故がふえれば悲しむし、よいニュースなどがあれば手ばなしで喜ぶ祖父は、ぼくの父に向かって「役職にもいろいろあるが子供たちのための役職はほとんどやってくれ」と言っている。つまり、PTA関係のことは苦勞してでもやってくれたいと願っている。今ぼくの父は、PTA会長をしている。父は祖父のこんな考え方を大切にしているのだ。

祖父たちは、最近のぼくを見るように見ている。つまり、「こんどは何の取材かな」といった顔をしている。しかし、「何でも語ってやるぞ」といつているように見える。

東郷町民歌の一節に「祖先の美風受けついで、郷土に生きる喜びを」とある。

ぼくは、祖父たちの話をきくうちに、この歌詞が分かってきたような気がしている。

点描 (21)

新観音堂の由来

成願寺の前庭に古い観音堂がありました。大正三年に建てられ老朽その極に達し、廃屋寸前の状態でありました。この五月一日の吉日に、同寺の下庭に山陰百性一揆供養碑と並んで、新しい観音堂が建てられ、おごそかに落慶の式が善男善女百余人を迎えて目度た取り行われました。



この新観音堂建立にあたり、多くの方々の浄財が寄せられたことは、有り難いこととあります。わけてこの新観音堂建設にあたり、新しく一体の佛像が、この堂内に安置された由来であります。そもそも、現在地成願寺の前身は田野区稲葉野にて中野寺と称して、古い歴史を有していた寺であります。今より約四百三十余年前に山陰城主米良喜内が、山陰城の支城の西城跡の下に安禅山成願寺を建立し、田野の中野寺の佛体の大部分をこの寺に移したものとされています。だがただ一体の佛像と言いか、神体と言いか、「十六善神」がこの中野寺に残され現在まで小さな堂宇の中に祀られていました。地区の小川多寿郎氏、三浦儀三郎氏、中野輝男氏等が氏子として祀って来たが、終戦後より小川文次郎氏がこの堂宇を祀ることとなり、現在に至ったのであり、新しく一体の佛像が、この堂内に安置された由来であります。

り、新く一体の佛像が、この堂内に安置された由来であります。緒あるこの「十六善神」をこの堂宇にて保存することの、尊厳を損うこと、不安なることを察し、成願寺住職や寺総代の方々に懇願して遂に新観音堂建設の運びとなったのであります。

小川義信君が落慶式当日の挨拶の中に「十六善神が稲葉野の粗末な堂宇の中にて長年淋しい年月を過して来たが、これで昔の佛神の方々と一緒に祀られることになったこと……只皆様に深く感謝申し上げます」と。

若い小川君と、当日席を同じうして般若湯をいただきながら、「いいことをした。若くして佛神の事がらに、手をかけ、心をかたむけて、皆様に喜んでいただいた事は、君の一生の中の大きいベリジになります。今後の人生生活に輝かしい燈明になりますよ」私は小川君にはなむけた。

私も東郷小学校長時代の一児童が、かくも成長して、社会の中に或るともしびをかかげたことを私は限りなくうれしく思いました。成願寺に美しい二間真角の、見るからにすがすがしい新観音堂を町民の皆様一度御参り下さい。時は折りは御詠歌の一節も聞えて来ることもありましょう。

東郷町社会教育委員 都甲鶴男

牧水と坪谷 (14)

塩月儀市

いま一人の叔父があった。父のすぐの弟で隣村の山陰村で同じく医者をしていた。最も近い血族の、この叔父の印象は幼い頃の私には余り無い。無いというより母を信じ切っていた私には母と仲悪のこの叔父が甚しく善く見えなかつたものである。

極く平凡な人であったが、唯だその兄弟仲のよかつたことは異常であつた。若山の兄弟を出会せたら病人は上つたりだと村で評判せられていた通り、この二人が逢うと一日でも二日でも離れようとしなかつた。別に話があるでもないのだが、二人共ちびく／＼と酒を嘗めながら、誰が何と云つても座を立たなかつた。弟はよく兄を敬い、兄はまた極めて弟を愛した。二里程離れて住んでいたが、二三ヶ月も逢う機会が無いとどちらかが飄然と訪ねて行つて一日か二日を泊つて来るのを常とした。

○寅おぢやんと番所の阿母 寅おぢやんは本名天野寅吉で牧水宅の隣家の爺であります。牧水が生れた時から、「しげ坊／＼」とたいへん可愛がった爺で、炭焼を業としたので、牧水

が三四才頃はよく牧水を伴つて炭山に行き終日炭小屋で遊ばせた爺で、牧水も生涯を通じて親しんだ爺であります。

牧水は父が厄年の四十二才の歳に生れました。この頃は親が厄年に生れた子は路傍に捨てて他の健康な主婦に拾つてもらはないと育たぬという習俗がありました。牧水は生れて二ヶ月ばかりの時、裏門の牡丹桜の根元に捨てられました。それを拾つてくれた主婦が奈須チヨであります。チヨは牧水宅の筋向いの家の主婦で、この家は藩政時代番所であつた処の家の主婦であるので、牧水は「番所の阿母」と小学校の頃まで呼んで敬愛した婦人でありました。

六、遊戯・村の行事・五本松峠・海 ○遊戯 牧水は幼少年の頃の遊びについて次のように記しています。「幼少時代の遊戯は殆んど天然を相手としたものであつた。凧あげ、根つ木、鬼ごっこ、かくれんぼ、そうしたのもも為ないではなかつたが、先づ極めて稀であつた。(つづく)

祭水牧

短歌会迫る

九月十七日は恒例の牧水祭が行われ、この行事の一環として今年も短歌会を開催する計画をすすめています。昨年の応募者は一般の部、二十一名で九十四首中学生の部、三十五名で百十九首でした。本年も皆様方の多数のご投詠をお待ちしております。 ○応募期間、8月1日～8月31日 ○応募資格、本町に居住する者、または町内の事業所等に勤務している者 ○歌題……自由課題 ○応募点数……一人五首以内 ○選歌の方法「一般の部」と「中学生の部」を設けそれぞれ天賞一首



地賞 二首 人賞 三首 佳賞 五首を選び入選者には記念品をお贈りします。 ○応募先、東郷町教育委員会内 牧水顕彰会事務局宛 ※住所氏名を明記してください。

行政 相談

巡回 国の仕事をはじめ国鉄、電々公社専売公社、公庫・公団事業団体県、町などの仕事に対する苦情要望など相談に応じておりますが今回は宮崎行政監察局より板井上席副監察官が来町して左記により相談に応じます。

一日時 六月二十一日10時～15時 二場所 東郷町老人福祉館 東郷町行政相談委員 山口俊一

青協だより

バレーボール大会 越表青年会優勝

二十九日行なわれたバレーボール大会で越表青年会が優勝しました。今度の大会は寺迫と田野が参加できず、オープン参加一チームを含む十チームの参加となりました。予選、決勝リーグを通じ熱戦となり、応援の方もいっしょうけんめいでした。

優勝 越表青年会

バドミントンを やつてみませんか

準優勝 追野内青年会 三位 羽坂青年会 毎週木曜日、青年が集まり、午後八時より、中央公民館でバドミントンをやっています。手軽にできるスポーツです。いい汗流してみませんか。特に女子会員の方待っています。

責任者 田中敬吾(坪谷) TEL 七八六七 (六月の行事) 十一～十二日 女子研修会 (西郷)

会長が

かわりました

東郷町農業委員会

去る四月三十日付で、前町長の木村誠氏が会長を辞任いたしましたので、後任として現町長の甲斐誌朗氏が六月四日付で就任いたしました。お知らせします。 東郷町農業委員会

8月・11月の仔牛せり出場牛は全頭牛流行性感冒(イバラキ病)予防注射の徹底を

イバラキ病とは

牛流行性感冒と呼ばれ法定伝染病に指定され、夏から秋にかけて発生がみられ九州各県に被害が広がっています。 いったん発生すると家畜伝染病予防法に基づく移動規制等の処置がとられ牛飼養農家が甚大な被害を蒙りますので8月と11月に仔牛せり市出場牛は生産検査時に全頭イバラキ病予防注射を実施します。(一頭に付五〇〇円徴収)

イバラキ病の症状

河川愛護月間

きれいな川を とり戻そう!

7月1日～31日



発病すると眼結膜の充血と浮腫、流涙、目やに、泡沫性の流涎と水様に膿性の鼻汁がみられる。 特徴として症状が回復に向つたころ、咽喉頭、舌、食道等の麻痺・鼓脹症や下痢を起し激しいときは肺炎を起し子供が悪く死亡率も高い。 予防方法 ワクチンの接種の外にない。



衛生だより

◎母子健康相談 6月21日  
 受付 9時半～10時半  
 場所 老人福祉館

◎三種・二種混合接種  
 6月14日  
 時間 14時～15時  
 場所 中央公民館  
 対象者 二期該当者及び連絡済の者

(三種混合ワクチン＝百日ぜき・ジフテリア・破傷風)は生後三か月から四十八か月の間に接種を受けますが、接種回数は一期三回、二期一回の合計四回の接種を受けます)

◎日本脳炎予防接種  
 対象者 三才以上の幼児 (希望者のみ)  
 ※昨年、初回免疫で二回の接種を受けた者は必ず追加接種を一回受けること (初年度に二回、翌年に一回計三回接種している幼児は必要ありません)

区 分	第1回	第2回	時 間	場 所	担当医師
田内原 野ノ重 小鶴八 瀬野坂ノ内 福田羽迫	6月22日	6月30日	14:00 ～ 15:00	中央公民館	田中先生
寺 迫	6月23日	7月7日	14:00 ～ 14:30	寺迫公民館	富永先生
坪 谷	6月24日	7月1日	13:30～ 14:00	坪谷保育所	富永先生

◎ツベルクリン予防接種

対象者 三混接種のためツベルクリン接種がでなかつた者及び対象者でもれた者(いずれも四才未満)

接種 日時 7月19日 14時～15時  
 場所 中央公民館

判定及びBCG接種 日時 7月21日 14時～15時  
 場所 中央公民館

母子手帳を忘れないように!

林業架線作業  
主任者講習

この講習は、県内の林業従事者を対象として、林業架線作業に必要な知識技術を習得させ、安全かつ、能率的な架線作業をすすめ、林業近代化の推進を図るものです。

▽受講資格 21才以上で実務経験2年以上の男子。

▽講習期間 前期8月8日～8月13日、後期9月26日～10月1日の12日間。

▽受講申込 6月20日(月)までに、受講願書・履歴書・実技経験証明書\*を農林課に提出のこと。

\*あくわしいことは農林課へお問い合わせください。

巡回婦人相談

婦人を対象に家庭内でのトラブルや、その他どうしても解決がつかないことについて相談に応じます。一人で悩まず一度ご相談ください。

▽期日 6月14日 10時～15時  
 場所 老人福祉館

▽相談内容 ●生活をやり直したい ●暴力から逃れたい ●どんな職についてよいか分からない ●収入が少なくて住居がない ●異性関係での失敗 ●夫婦親子、嫁、姑間のトラブルなど。

今月の税金  
町県民税一期  
納期限6月30日

▽県婦人相談所職員 松永澄雪

善意のともしび

忌明けとして、つぎのかたから町社会福祉協議会へ社会福祉のために善意がよせられました。厚くお礼申し上げます。

▽羽坂の寺田雄吉さんから (キヨエさん・67才ご死去)

▽福瀬の崎永長吉さんから (ムツエさん・67才ご死去)

心配ごと相談

心配ごと相談を、左記日程により開催いたしますから遠慮なくご相談下さい。

開設日 6月21日  
 時間 午前10時～午後3時  
 場所 老人福祉館

まちのうごき

人口	6,509人	(△ 2)
男	3,110人	(△ 3)
女	3,399人	( 1)
世帯	1,775戸	( 11)

58年5月1日現在  
 ( )は対前月比

戸籍だより

4月届出分  
出生おめでとう

赤ちゃんの名	父の名	住所
佐藤考志朗	吉人	追野内
山田安貢	重男	追野内
中川鈴代	雄一	坪谷
羽田征史	和生	小野田
寺原恵美	義行	小野田
畝原潤	幸治	小野田
黒木信広	純吉	寺迫

結婚おめでとう

氏 名	氏 名	住 所
黒木 幸一	寺迫	寺迫
高橋 孝子	日出男	日向市
奈須 日男	まっつよ	八重原
藤倉 利治	さつき	日向市
川内 梅男	八千代	鶴野内
海山 梅男	八千代	坪谷
向山 梅男	八千代	鶴野内
橋口 敏彦	初美	小野田
黒田 敏彦	初美	仲深
那須 初美	美枝子	仲深
中村 政司	美枝子	羽坂
古賀 美枝子	美枝子	日向市

冥福を祈ります

氏 名	年 齢	住 所
氏 名	67	寺田キヨエ
田邊トラ	87	福瀬
崎永ムツエ	67	福瀬